

ごんごんちは！市民病院です！

院長のいさよち

10年後も暮らし続けられるまちであるために



加東市民病院
院長 金岡 保

新年明けましておめでとうございます。

加東市は、今後一層、高齢者だけの世帯や高齢者の独り暮らしの世帯が増えるものと予想されます。共働き世帯の増加も相まって、家族が高齢者を介護する力が低下していくのは避けられないものと考えられます。一方、医学や医療技術は著しく進歩するなかで、病院が提供する医療サービスへの要望は多様化かつ高度化しています。市民病院も、周辺地域の高度・専門医療機関との連携を強化し、圏域内の医療機関とのネットワークのもとに、要望に応

えます。

しかしながら、自治体が運営する病院として、他人まかせにはならない『核』の部分は確実に発展させていきます。

平成26年4月、市民病院は、介護老人保健施設ケアホームかとう・加東市訪問看護ステーションと一体化し、加東市病院事業部に組織改編して、安心して暮らし続けられるまちの医療の実現に取り組んでいます。訪問看護ステーションでは『住み慣れた地域で過ごせるよう、支えます、見守ります、助けます』をスローガンに、地域の方々が少しでも長く在宅療養生活を送れるように支援しています。市民病院への入院を検討されていた家族が、毎日訪問してくる看護師に励まされ

るうちに、介護に対して積極的に取り組まれるようになり、やがて「家で最高の介護をしています」と言われるようになったことも現場スタッフから報告を受けています。

在宅療養を『核』とし、訪問看護が支援し、このまちの医療・介護の関連機関との連携のもとに、ケアホームかとう、市民病院が後方支援します。平成27年11月、市民病院内に、リハビリテーションを通して在宅療養に復帰するための病棟（地域包括ケア病棟）を新設しました。後方支援の一环です。

救急医療、急性期医療の維持も重要です。

病院の常勤医師が減り、医師の確保が切実な課題となる中、平成27年10月には、



新たに婦人科の常勤医師が着任してくれました。これからも引き続き医師確保に努めていきます。

人が心から感謝する相手とは、自分に寄り添って、からだと心の痛みを和らげてくれる人なのかもしれません。住み慣れたまち、暮らし慣れた家であればこそ叶えられる願いなのではないでしょうか。

10年後も、安心して暮らし続けられるまちであるために、加東市病院事業部は、組織一丸となって、考え、実践し続けます。ご理解とご支援をお願い申し上げます。

問い合わせ 加東市民病院

☎ 42・5511

高齢者の肺炎球菌予防接種 無料接種はお早めに

無料接種の対象となる方

- ①平成27年度に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方
※対象の方には平成27年4月に通知をお届けしています。
- ②満60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいがある方で、身体障害者手帳1級相当と認定された方

平成27年度高齢者肺炎球菌の定期予防接種の無料接種期限は、平成28年3月31日(木)です。

まだ接種していない方は、ワクチンの有効性・副反応等をご理解のうえ、医師と相談のうえ、接種を受けてください。

◎接種は1人1回限りです。 問い合わせ 市民生活部健康課(庁舎2階) ☎43-0435

※毎年受けていただけるインフルエンザワクチンとは異なります。